



# やぐもだい

令和5年9月29日  
調布市立八雲台小学校  
校長 上田 義孝  
<http://www.chofu-schools.jp/yagumodai-sho/>



## 「研究の秋」

副校長 吉沢 洋

ようやく秋の涼しさを感じられる季節となってきました。この時期になると〇〇の秋が話題になります。八雲台小学校では「研究の秋」として教職員一同頑張っています。

本校では『子どもたちが学び合う喜びを感じられる国語科の学習を目指して～子どもたちを引き付ける指導の工夫～』をテーマに設定し、研究を進めてまいりました。3年間積み重ねた研究の成果として10月13日（金）に市内の先生方を中心に授業を見ていただく「研究発表会」を行います。

子どもたちは国語を通して、「生活経験と結び付けたり、文章に書いてあることを根拠にしたりしながら自分の考えを発表すること」ができるようになりました。「自分と違う考えや意見を否定するのではなく、受け入れて自分の考えと比較したり、取り入れたりすること」ができるようになりました。国語を通して、友達との考え方やとらえ方の違いである「ずれ」を楽しむようになりました。

### 「寒いね」と話しかければ 「寒いね」と答える人のいるあたたかさ

引用：俵万智「サラダ記念日」

私たちが国語の研究をする上で、原点ともいえる一文です。この文章を読んだとき、どのような場面を想像しますか？

「二人で会話をしている」という場面は多くの方がイメージできたと思います。

では、「どのような関係の二人」でしょうか？

親子？兄弟？姉妹？友達同士？たまたま近くにいた人？

場所はどうでしょうか？

家の中？公園？学校？

人それぞれ考え方やとらえ方は違います。自分と違う考えを聞いたときに、なぜそのような考えをもったのか気になると思います。そして、たずねてみたくなると思います。

国語の学習の中でこのような場面を多く設定することで、子どもたちは先ほど書いたように「ずれ」とお互いの意見を聞く「対話」を通して学び合う喜びを感じることができました。

指導する教員も大きな手ごたえを感じています。改めて学校は学ぶところであると実感しています。教員同士も意見を交わしながらお互いの「ずれ」を楽しむように授業の準備をしています。13日は、いきいきと国語の授業に向かう子どもたちの姿と共に、いきいきと指導する先生方の姿も参観する方々に見ていただきたいと思っています。

「研究の秋」八雲台小学校にとって実り多き、秋になりそうです。